サポート情報記事

Password Vault のジェネレーターで強力なパスワードを生成する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

ジェネレーターを開く 4

ジェネレーターのオプション 5

パスワードが生成されるしくみ 6

推奨事項 7

はじめに

自分で考えたパスワードは、短く推測しやすいものになりがちです。単語、年、感嘆符といった具合です。Password Vault がパスワードを覚えておいてくれるので、覚えやすいパスワードにする必要はありません。組み込みのジェネレーターは、選択した長さと文字セットでランダムなパスワードを作成し、そのままエントリに入力します。

ジェネレーターは**新しいアイテム**ダイアログと**プロパティの編集**ダイアログに含まれているため、エントリの作成時または編集時に使用します (KB10443. Password Vault でエントリを追加、編集、削除する方法を参照)。これらのダイアログは、保管庫のロックが解除されている間だけ使用できます。

ジェネレーターを開く

1 **新しいアイテム**をクリックするか、既存のエントリを展開して**編集**をクリックします。
2 **パスワード**フィールドの下にある**パスワードの生成**をクリックします。

ボタンの下にジェネレーター パネルが開き、すぐに新しいパスワードが生成されます。生成されたパスワードはパネルに表示されると同時に、**パスワード**フィールドにも入力されます。フィールドの下の強度メーターには、推定される強度が表示されます。

もう一度**パスワードの生成**をクリックすると、パネルが閉じます。最後に生成されたパスワードは**パスワード**フィールドに残ります。



パスワード ジェネレーター パネル

警告

プロパティの編集ダイアログでジェネレーターを開くと、**パスワード**フィールドの現在のパスワードがすぐに置き換えられ、パネルで変更を行うたびに再び置き換えられます。ジェネレーターを確認したかっただけの場合は、**キャンセル**をクリックしてください。エントリには元のパスワードが保持されます。**保存**をクリックすると新しいパスワードが保存されるので、サイトやサービス側でもパスワードを変更してください。

ジェネレーターのオプション

オプション	既定値	説明
プレビューと**再生成**	-	生成されたパスワードがプレーン テキストで表示されます。**再生成**ボタン (円形の矢印) は、同じ設定で新しいパスワードを作成します。

オプション	既定値	説明
長さ	16	8 ～ 64 文字のスライダーです。
大文字 (A-Z)	オン	大文字を含めます。
小文字 (a-z)	オン	小文字を含めます。
数字 (0-9)	オン	数字を含めます。
記号 (!@#$)	オン	記号 `! @ # $ % ^ & * ( ) - _ = + [ ] { } ; : , . ?` を含めます。
似ている文字を除外 (I, l, 1, O, 0, o)	オフ	パスワードを読み上げたり手で入力したりするときに混同しやすい文字 (`I`、`l`、`1`、`O`、`0`、および小文字の `o`) を除外します。

スライダーを動かす、チェック　ボックスをオンまたはオフにするなど、変更を行うたびにすぐに新しいパスワードが生成され、**パスワード**フィールドに入力されます。別途確認する必要はありません。フィールドには常に、プレビューに表示されているパスワードが入力されています。

メモ

プレビューには生成されたパスワードがプレーン　テキストで表示されますが、**パスワード**フィールドではマスクされたままです。パネルを開いている間は、誰にも画面を見られていないことを確認してください。

パスワードが生成されるしくみ

- **選択した文字の種類はすべて必ず含まれます。** パスワードには、選択した種類ごとに少なくとも 1 文字が必ず含まれます。たとえば、**数字 (0-9)** がオンの場合は

少なくとも 1 つの数字が含まれます。残りの文字は、選択したすべての種類をまとめた中から選ばれます。
- **文字はシャッフルされます。** パスワードを組み立てた後、文字の順序がランダムにシャッフルされるため、必ず含まれる文字が常に先頭に来るわけではありません。
- **4 つの種類をすべてオフにした場合でも**、ジェネレーターは停止せず、小文字を使用します。
- **乱数のソースは暗号論的です。** 文字は、通常の擬似乱数関数ではなく、ブラウザーの暗号論的乱数ジェネレーター (`crypto.getRandomValues`) によって、文字セットのすべての文字が同じ確率になる方法 (剰余バイアスなし) で選ばれます。
- **すべての処理はブラウザー内で行われます。** パスワードはお使いのデバイス上で生成され、エントリを保存するときに、暗号化された保管庫ファイルの一部としてブラウザーと OneDrive の間でのみ転送されます。Vitextra が保管庫のデータを受け取ることはありません (KB10363. Vitextra 製品がデータを保存する場所: プライバシー、データ所在地、GDPRを参照)。

推奨事項

- **既定の長さ 16 文字以上を維持してください。** 4 つの種類をすべてオンにした場合、生成された 16 文字のパスワードは、強度メーターでほぼ必ず**非常に強い**と評価されます。最小の長さである 8 文字のパスワードは、4 つの種類をすべて使用しても、最高で**普通**の評価です。
- **サービスで許可されている場合は、4 つの種類をすべて使用してください。** サイトが一部の記号を受け付けない場合は、**記号 (!@#$)** をオフにし、代わりに長さを増やしてください。文字セットを広げるよりも、長さを増やすほうが強度は高まります。
- **似ている文字の除外は必要な場合にのみ使用してください。** たとえば、誰かが読み上げたり、印刷物を見て入力したりするパスワードの場合です。使用できる文字の数がわずかに減ります。
- **アカウントごとに異なるパスワードを使用してください。** ジェネレーターと保管庫があれば、手間はかかりません。
- **先にエントリを保存してから、サービス側でパスワードを設定してください。** 保存した後、エントリを展開し、**クリップボードにコピー**を使用してサービスの「パスワードの変更」フォームにパスワードを貼り付けます (KB10444. Password Vault でパスワードまたはユーザー名を表示してコピーする方法を参照)。サービ

ス側で変更が確認できるまでは、元のパスワードを組織が承認した安全な場所に保管してください。保管庫に保存したパスワードが、サービスで受け付けられたパスワードと一致することを確認してください。

ヒント

強度の各レベルの意味と計算方法については、KB10446. Password Vault のパスワード強度メーター: 各レベルの意味で説明しています。日常的なすべての作業の簡単な紹介については、KB10441. Password Vault: エンド ユーザー向けクイック ガイドを参照してください。